

裏面白紙

一八七一

立案 昭和 年 月 日

決裁 昭和 年 月 日

爵位課長

宗秩寮總裁

宮内事務官

元海軍教授森達雄外九名特旨
叙位，件

昭和三十年十月十四日官報報告済
臺帳記入十一月十四日

宮内省

238



元海軍教授森達雄外九名特
旨叙位ノ件
右謹テ裁可シ仰ク
昭和二十年十月二十四日
内閣總理大臣男爵幣原喜重郎

内閣

裏面白紙

令
海軍第九三五號

案起

昭和三十年十月

日

裁可

昭和三十年十月二十日

施行

昭和

年

月

日

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣書記官

元海軍教授森達雄外九名特旨
叙位、件

例
辭令案
文

内閣

内閣人海軍省
第九五五號

敘正五位	昭和二十年九月二十九日	任海軍教授以來	元海軍教授從五位	森達雄
依願免本官	在職十年以上	同	同	岡崎一二三
同	同	同	同	同
同	昭和七年六月二十七日	任海軍技師以來	元海軍技師同	藤田守三
同	昭和十年七月十五日	任海軍技師以來	同	同
敘從五位同	在職十年以上	同	正六位	鍋定一
右文武官敘位進	階内則第四條ニ依リ			
議テ奏ス				

昭和二十年十月二十二日

海軍大臣 米内光政



海軍

裏面白紙

内閣 司法 二五

陸 軍

叙正五位

昭和三十年十月十三日

職

退職検事

從五位

梶川

全

昭和三年九月一日

任

検事以來

在職

十年以上

右文武官

叙位進階

内則第四條

ニ依リ

謹テ奏ス

昭和三十年十月十六日

司法大臣

岩田

宙

造



東京中井和

282

めくれず

裏面白紙

陸 二一四

陸 軍

叙正五位昭和二十年十月八日元裁判所書記長從五位古川 惠助
昭和七年三月十日任裁判所書記長以來在職十年以上
右文武官叙位進階内則第四條ニ依リ謹テ奏ス
昭和二十年十月十三日

司法大臣 岩田 宙造

軍部 中務省

283

裏面白紙

内
一〇二八

244

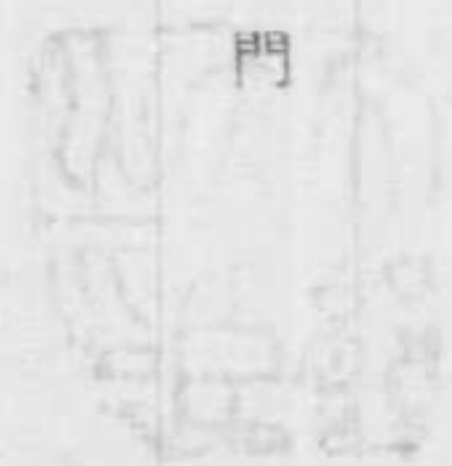
文
部
省

敘正五位
昭和十年二月五日任國
官制廢止三行官
來在職滿十年以上
元數學鍊成所鍊成官從五位大 串 兎代夫

有文武官敘位進階内則第四條ニ依リ謹テ奏ス

昭和十年十月廿日

文部大臣 前田 多門



敘正五位
依願免本官
昭和廿年十月十六日
昭和九年四月十六日兼
任商工理事官以來高等
元商工事務官從五位長綱
治郎

右文武官敘位進階内則第四條ニ依リ謹テ奏ス

昭和二十年十月十八日

商工大臣 小笠原 三九郎



軍 需 省

めくれず

裏面白紙

二八七

運輸通信省

246

特旨
特旨

叙正五位

昭和二十年十月二十日
依願免本官

昭和八年四月六日任鐵道局
技師以來在職滿十年以上

元鐵道官
從五位 小倉 莊五郎

同

同

昭和九年四月六日任鐵道局
技師以來在職滿十年以上

同 同 小田 啓藏

右文武官叙位進階内則第四條ニ依リ

謹テ奏ス

昭和二十年十月 日

運輸大臣 田中 武雄



海軍人卒三〇四號

昭和二十年十月二十二日

海軍大臣 米内光政



内閣總理大臣 男爵 幣原喜重郎 殿

元海軍教授森 達雄外三名ハ多年軍職ニ在リテ克ク其ノ任務ヲ盡シ功績顯著ノ者ニ候處九月二十九日孰モ依願被免本官候ニ付テハ特ニ位一級被進度別紙上奏書進

海軍

達ス

(終)

207



司法省人恩第一二三。號上奏壹件
右執奏有之度候也

昭和二十年十月十六日

司法大臣 岩田 宙 造

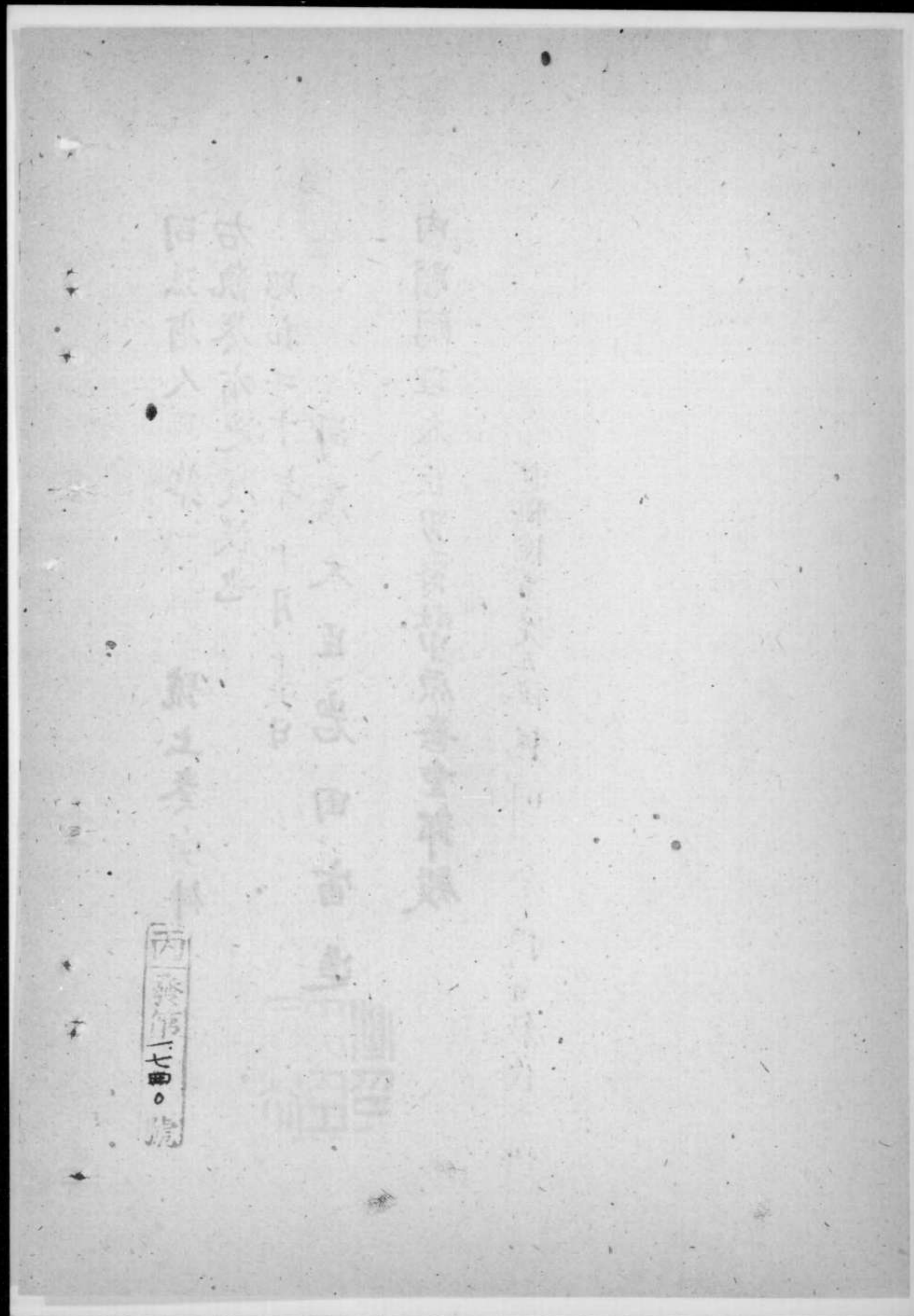


内閣總理大臣男爵幣原喜重郎殿

退職檢事從五位梶川 全特旨叙位ノ件

288





司法省人恩第一〇二一號上奏壹件
右執奏有之度候也

昭和二十年十月十三日

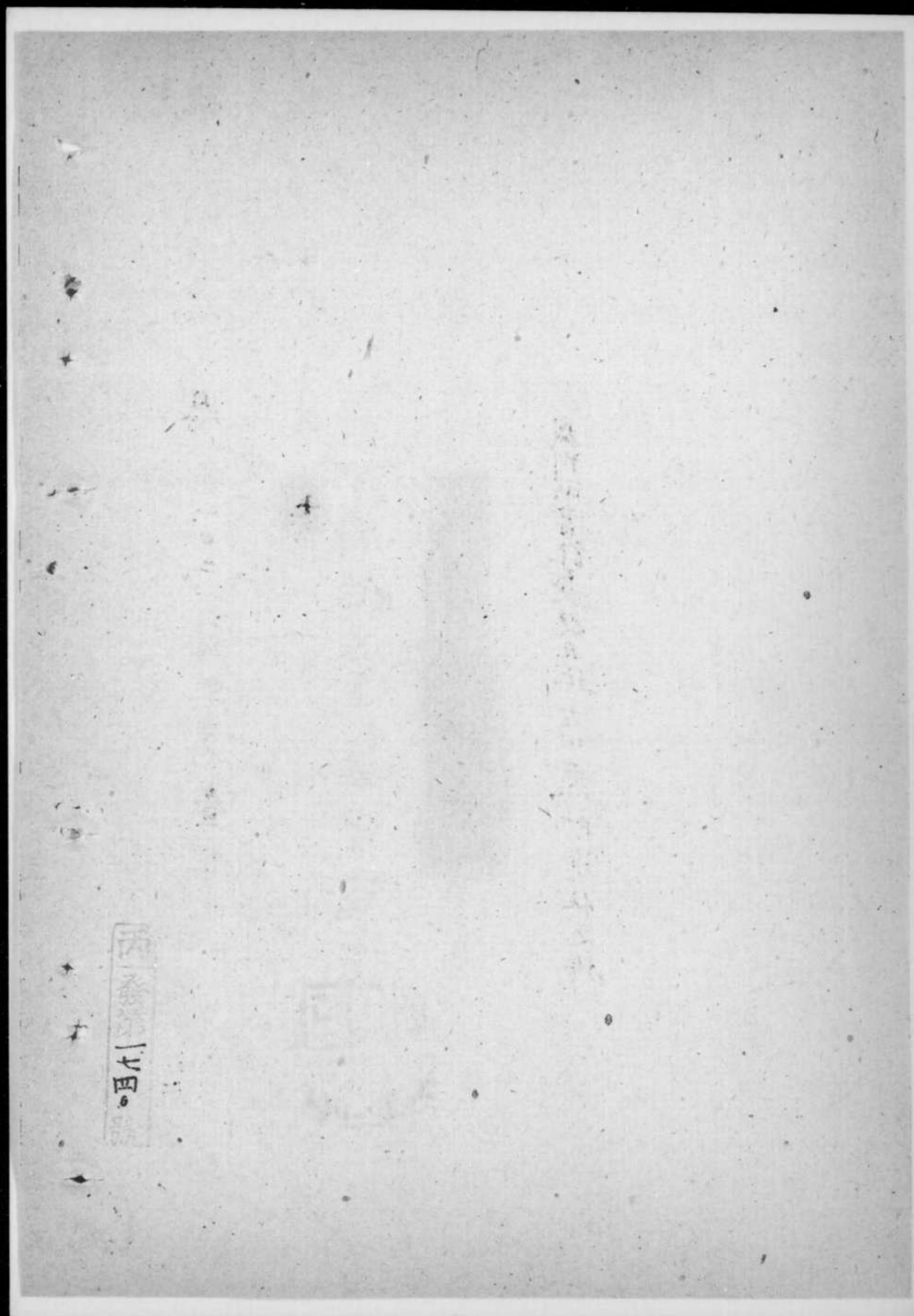
司法大臣 岩田 宙造

内閣總理大臣 男爵幣原喜重郎殿

元裁判所書記長從五位古川惠助進位之件



めくれず



文 部 省

大串 兎代 夫特旨 敍位ノ件

右 上 奏 書 及 進 達 候 也

昭和 廿 年 十 月 貳 日

文 部 大 臣

前 田 多

門

内閣總理大臣 男爵 幣 原 喜重郎 殿

1447

250 1/2

2010.19

省 陪 文

内閣縣監大臣長官
 禮部
 刑部
 工部
 兵部
 吏部
 戶部
 刑部
 工部
 兵部
 吏部
 戶部

文 陪 大 臣

前 田

参

門

御 味 大 平 十 日 支 日

古 上 奏 書 文 筆 致 刻 出

大串家外夫御旨趣、并

丙 辰 年 丁 巳 月

2025

er.01.03

二〇商奏第五號

商工事務官長綱治郎本年十月十六日依願免本官ノ趣同人ハ高等官
在職滿十年以上ニ及ヒ勤勞不撓モノニ付此際位一級被進度別紙上
奏書進達ス

昭和二十年十月十八日

商工大臣 小笠原 三九郎



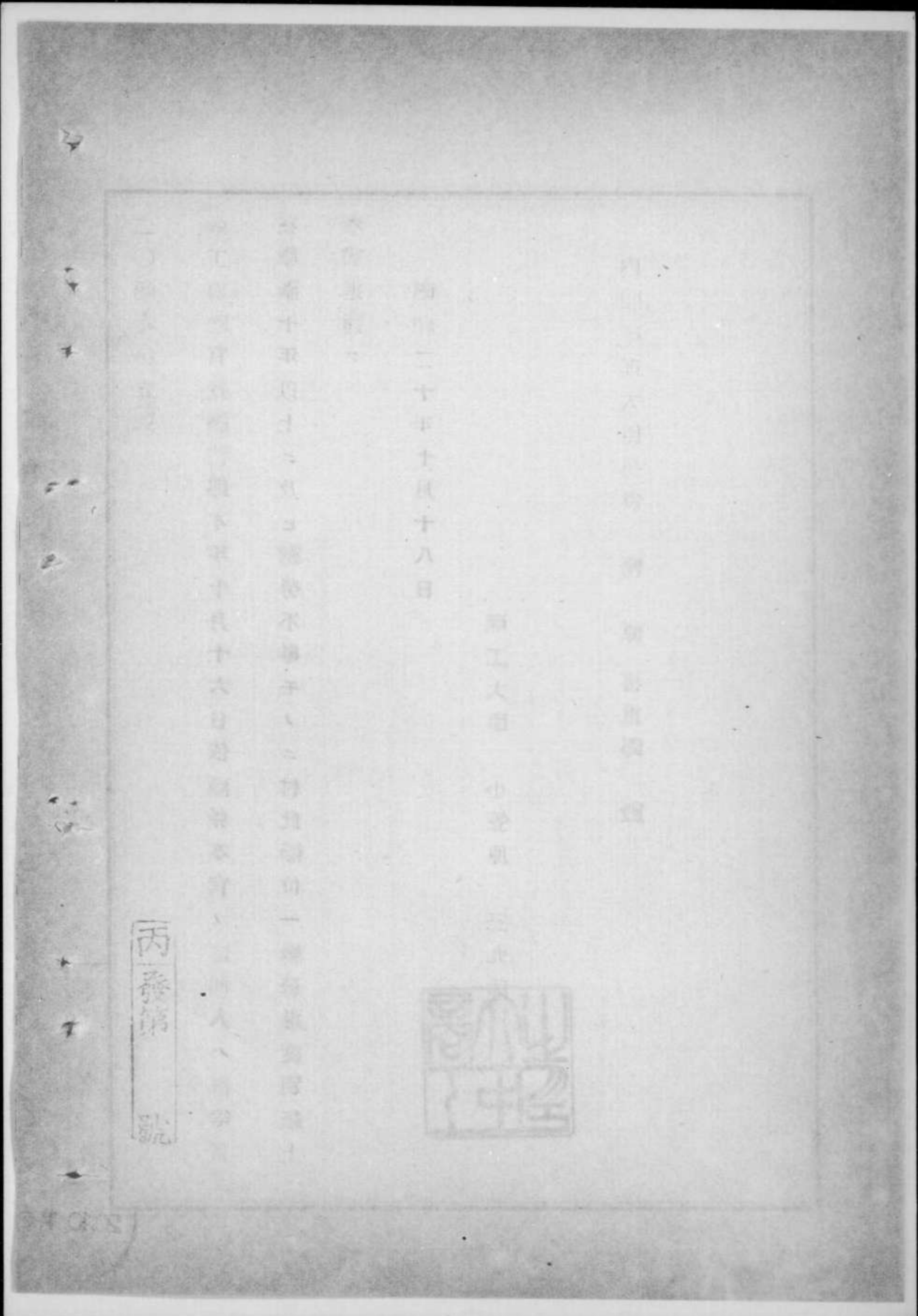
内閣總理大臣男爵 幣原 喜重郎 殿

280 3/2

軍需省

20.10.19

45



秘恩第一七九號

元鐵道官從五位小倉莊五郎外一名特旨敘位ノ件

別紙上奏書及進達候也

昭和二十年十月 日

運輸大臣 出 中 武 雄



内閣總理大臣 男爵幣 原 喜重郎 殿

運輸通信省

287



内閣府 大蔵省 農商務省 陸軍省 海軍省 文部省 司法省 逓信省 大蔵省 農商務省 陸軍省 海軍省 文部省 司法省 逓信省

明治二十五年十月 日

内閣府 大蔵省 農商務省 陸軍省 海軍省 文部省 司法省 逓信省

一 大蔵省 農商務省 陸軍省 海軍省 文部省 司法省 逓信省
二 大蔵省 農商務省 陸軍省 海軍省 文部省 司法省 逓信省
三 大蔵省 農商務省 陸軍省 海軍省 文部省 司法省 逓信省

丙 發第一七四號

裏面白紙

二號 露紙

丙 發第七四三號

一 正五位長綱治郎
右の者の位記と辭令とを送りますから本人に交付せられたい

昭和三十一年九月十七日

宗秩寮總裁候爵 松平康昌

商工大臣水谷長三郎殿

ニ商奏サ五号

宮内省